

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2026年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は係員の指示に従い安全に留意して行うこと。特に投てき練習は危険防止に努めること。
- (2) 練習場では安全確保のため逆走を禁止する。また、牽引ロープ等の用具の使用を一切禁止する。
- (3) 競技開始前のメイン競技場での練習可能時間は次の通りとする。
・9/18(金)8:30～9:30 ・9/19(土)・20(日)7:30～8:30
- (4) 走路の使用は原則として次の通りとする。(状況により変更がある場合は係員の指示に従うこと。)

◎本競技場	◆1・2レーン：中長距離、競歩 ◆3～7レーン：短距離 ◆8・9レーン：ハードル（100mH・110mH：ホームストレート、400mH：第1から第2曲走路にかけて）
◎補助競技場	◆1・2レーン：中長距離、競歩 ◆3・4レーン：短距離（スタートダッシュはホームストレート100mスタート地点で行う。この場合、ホームストレートは5～8レーンも使用可。） ◆第1曲走路から第2曲走路にかけての7・8レーン：400mH ◆9・10レーン（ホームストレートのみ）：100mH、110mH ◆9/20(日)について：ホームストレート7～10レーンをハードル専用とする。 7レーン：中男110mH、8レーン：中1男100mH、9レーン：中女100mH、10レーン：中1女80mH
◎雨天練習場	◆1・2レーン：ハードル ◆3・4レーン：短距離 ◆5・6レーン：走幅跳、三段跳

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場メインスタンド下の室内練習場に設ける。（100mスタート地点側）
- (2) 招集所への入口は、本競技場防風ゲート（100mスタート地点後方）とする。
- (3) 招集完了時刻について、トラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前とする。ただし、棒高跳については競技開始90分前とする。
- (4) 招集の方法については次の通りとする。
 - ア 競技者は、招集完了時刻5分前までに招集所内の席で待機し、最終点呼を受ける。その際、アスリートビブス（以下ビブス）、スパイク、商標等の点検を受ける。（トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取り、出発までに右腰部やや後方に付ける。）
 - イ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器の競技区域内への持ち込みは禁止する。（競技規則6.3.2）
 - ウ 代理人による点呼は認めない。複数種目を同時に兼ねる競技者は「多種目同時出場届」を招集所にて受け取り競技者係に提出すること。
 - エ 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなして処理する。
 - オ 欠場する競技者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所にて受け取り競技者係に提出すること。
 - カ ビブスは所定の大きさのままで胸・背部両面に付けること。ただし、跳躍競技は背部又は胸部のみでもよい。

4 競技の抽選及び番組編成について（レーン順、試技順）

- (1) トラック競技におけるレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラム記載順序による。
- (2) トラック競技における次ラウンド進出者については、主催者が公平に決める。着順による最後の1枠に同成績がいる場合は競技規則21.3及び21.4を適用し、時間による最後の1枠に同成績者がいる場合は競技規則21.5を適用する。

5 競技について

- (1) トラック競技について
 - ア 一度の不正スタートで責任を有する競技者は失格とする。
 - イ トラック競技は全て写真判定装置を使う。
 - ウ レーンで行う（一部をレーンで行う場合も含む）種目について、予選出場者が9人（リレーは9チーム）以下となった場合は、決勝時刻に決勝を行う。（予選の招集完了時刻に確定）
 - エ レーンで行う種目について、フィニッシュライン通過後も自己のレーン（曲線）に従って走ること。

- オ 距離が3000m以上の種目について、気象状況によっては給水を実施する。
- カ リレーのオーダー用紙は、招集所にて受け取り、『各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前』までに一部を競技者係に提出すること。決勝においてもオーダー用紙を提出すること。
- キ リレーに使用するマーカーは1人1か所とする。マーカーは前走者が取り除くものとする。

(2) フィールド競技について

- ア 競技場内での練習は、全て競技役員の指示に従って行うこと。
- イ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
- ウ 高さの跳躍のバーの上げ方について
- (ア) 走高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	
高校男子	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後1人になるまで3cm
高校女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m53	以後1人になるまで3cm
中学男子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後1人になるまで3cm
中学女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後1人になるまで3cm

- (イ) 棒高跳のバーの上げ方は当日決定する。
- (ウ) 高校の高さの跳躍について、中国高校新人出場資格者決定に係る競技は、ジャンプオフ形式で行う。
- エ 三段跳の踏切板は、男子は砂場から10m、女子は8mの地点に設置する。

6 競技用具について

- (1) 競技で使用する靴底の厚さは、下表のとおりとする。

種 目	靴底の最大の厚さ	備 考
トラック種目	20mm以内	・競歩を除く。
フィールド種目	20mm以内	・跳躍種目について前部は踵より厚くなつてはならない。 ・サークルで行う投てき種目（砲丸投、円盤投、ハンマー投）については適用しない。
競歩	40mm以内	

- (2) スパイク（ピン）の長さは9mm以下とする。走高跳及びやり投は12mm以下とする。
- (3) 棒高跳用ポールは個人所有のものを使用することができる。
- (4) 投てき用具は競技場に備え付けのものを使用する。ただし、個人所有のものについて、主催者による検査を事前に受け、合格したものについては使用することができる。

7 表彰について

- (1) 各種目3位までの入賞者に賞状を授与するので、結果発表30分後に表彰席で受け取ること。
- (2) 高校について、本大会は学校対校とし、1位8点……8位1点とし、その合計点により順位を決定する。これにより、男女とも総合、トラック、フィールドの各部門3位までの学校に賞状を授与する。

8 その他

- (1) 高校について、3位までの入賞者が4名以上いる場合は、中国高校新人出場資格者3名を決定するための出場者決定戦を行う。
- (2) 中国高校新人出場者は、1種目につき各校2名までとし、次点者が繰り上がる場合がある。
- (3) 医務室は本部に設けるが、発病、負傷については応急処置以外の責任は負わない。
- (4) 応援については、競技の進行に配慮しながら行うこと。メインスタンドでの集団応援は禁止する。
- (5) 貴重品の管理は各人が行うこと。紛失の責任は負わない。また、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (6) 記録はその都度アナウンスするが、記録掲示板にも印刷物を掲示する。
- (7) 横断幕の掲示については、メイン及びバックの各スタンド最上部のみ許可する。のぼり旗についてはサイドスタンドを含む各スタンド最上部のみ許可する。ただし、個人名入りの横断幕等は禁止する。
- (8) テント設置は原則としてバック及びサイドスタンドにある中段通路より上の部分とする。また、メインスタンドにシートを敷いて席を多数占拠することは禁止する。
- (9) 開門時刻は次の通りとする。

・9/18(金)7:30 ・9/19(土)・20(日)7:00